

2022年10月 旅行取扱高状況報告

< 旅行区分別 >

(単位：千円)

区 分	取 扱 高	前年同月取扱高	前年同月比	2019年同月取扱高	2019年同月比
海外旅行	6,862,750	765,059	897.0%	32,249,039	21.2%
国内旅行	4,821,705	2,105,793	228.9%	4,712,368	102.3%
訪日旅行	131,403	44,846	293.0%	1,778,680	7.3%
合 計	11,815,858	2,915,698	405.2%	38,740,088	30.5%

上記、月次取扱高は、エイチ・アイ・エス及び同グループ 5 社（オリオンツアー、クオリタ、クルーズプラネット、ジャパンホリデートラベル、エイチ・アイ・エス沖縄）の社内取引を相殺した取扱高の合計となります。また、コロナ以前と比較するため、2019年同月比を基準に記載しております。

1. 海外旅行

10月11日より入国者数制限が撤廃となり、新型コロナウイルスの水際対策の緩和が段階的に進む中、HISでは、海外旅行市場の活性化を図るべく、主要観光地をはじめとする政府観光局との連携を推し進め、各ターゲットのニーズに沿った特別企画ツアーの展開を図りました。プロモーション活動の強化として実施した「HISのリベンジ旅 大応援セール」では、観光渡航が再開した台湾や、ビザ免除が再開した韓国をはじめ、添乗員同行のヨーロッパの販売強化を図ったことで、自社主催ツアーの利用者数が先月比で136%の伸びを示すなど、レジャー需要回復の動きが見られました。しかしながら、燃油サーチャージの高騰や歴史的な円安、日本発着における国際線航空座席供給数の回復鈍化もあり、本格的な回復には至っておりません。

以上の結果、海外旅行の取扱高は、前年同月比897.0%、2019年同月比21.2%の68億6,275万円となりました。

2. 国内旅行

政府が観光需要喚起策として「全国旅行支援」を10月11日より開始したことにより、国内旅行における航空機を利用した遠方の旅行市場の急回復が見られました。HISでは人気観光地である沖縄と北海道の販売強化として、早期申込みや長期滞在でお得な特典が付く「沖縄 LeaLea キャンペーン第3弾」や「HokkaiDoing!キャンペーン」の同時開催を行ったこともあり、両方面における10月送客は、前年比223%の伸びを示すなど、10カ月ぶりの2019年同月比を上回る要因となりました。

以上の結果、国内旅行の取扱高は、前年同月比228.9%、2019年同月比102.3%の48億2,170万円となりました。

3. 訪日旅行

入国者数制限の撤廃と、個人旅行の解禁、ビザなし渡航の再開といった、新型コロナウイルス感染症の水際対策の緩和と共に、円安の追い風を受け、訪日旅行市場における回復の動きが見え始めております。しかしながら中国からの受客が主流であったHISグループは、未だ回復には至らず、訪日旅行の取扱高は、前年同月比293.0%、2019年同月比7.3%の1億3,140万円となりました。

以上の結果、2022年10月の取扱高総計は、前年同月比405.2%、2019年同月比30.5%の118億1,585万円となりました。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社エイチ・アイ・エス I R室：050-1746-4188
 広報室：050-1746-4177